

2012年7月16日(第12回)

2012年度JLA中堅職員ステップアップ研修(2)

領域: 情報資源管理

Webサービスの設計

安形 輝(亜細亜大学) agata@asia-u.ac.jp

## ウェブサービスの設計

**PC** パソコンを用いた演習

**GW** グループワーク

### (1) ウェブサービスとは

- ・ウェブサービスの基本

ウェブサービスの仕組み(HTTP、URL、HTML)はシンプル

- ・メディア利用の基本、検索エンジン経由利用
- ・広報手段、情報(コンテンツ)提供手段

**PC** 充実した図書館サイトの事例の紹介

### (2) 図書館サイトの構築と評価

- \* 充実した図書館サイトを構築するために

- ・PDCAサイクルの確立と対外アピールの重要性 → 次回までの課題

費用対効果、費用対便益

予算獲得のために ⇒ プレゼンテーションの重要性

費用低減のために ⇒ OSSとその運用

**GW** OSSをどのように活用するか

- ・アクセスしやすさとコンテンツの充実

- \* アクセス可能性の向上

- ・検索されやすさの向上

SEO(検索エンジン最適化)

ロボット排除プロトコル

URLの変更

**PC** 検索されやすい図書館サイト

- ・応答性能の向上

セキュリティと負荷

ダウンしないために(クラウドなど)

- ・わかりやすいサイトのために

二大コンテンツ: OPACと利用案内

アクセスログ ⇒ 遷移分析、外部サービス活用

ユーザビリティ調査

ガイドライン

ユニバーサルデザイン(利用者別対応:児童、障害者、外国人など)

機械可読性の向上 ⇒ API の提供

**GW** アクセスログの活用方法

\*コンテンツの充実

・電子書籍

・外部サービス、コンテンツ活用

マッシュアップ

・API 提供

\*コンテンツの提供方法

・ディスカバリー・インターフェース

### (3) 館種別課題

\*公共図書館

・公共図書館の使命とウェブサイト

**GW** 図書館サイトでどのようなコンテンツを提供すべきか

・利用者情報の活用

**GW** 貸出情報、読書事実に応じたサービスは提供すべきか

\*大学図書館

・非来館型サービスの拡大=ウェブサイトの充実

**GW** 大学図書館のこれから

・電子ジャーナルの利用統計、アクセスログ

サービスごとに形式が異なる

### (4) まとめ

・ウェブサイト運営の透明化と対外アピールの重要性

・アクセスできないウェブサイトは意味がない

\*課題

・図書館ウェブサイトを運営サイクル、アクセスしやすさ、コンテンツの充実度等の点から評価する。十分でない側面も含め、プレゼンテーション資料の形でまとめてくる。

・各自の持ち時間は3分間としてプレゼンテーションを行う。